

「稗田野町ふれあい声かけ訓練」にかめおか作業所も参加しました!

道に迷っている認知症の方をサポートする「稗田野町ふれあい声かけ訓練」が、11月24日に稗田野町鹿谷地区で実施されました。この訓練は自治会と地区社会福祉協議会が企画され、認知症の症状がある高齢者の方の徘徊を想定し、住民が優しく声を掛けるポイント、学ぶ訓練です。認知症は、85歳以上では、4人に1人にその症状があるといわれ、超高齢社会を迎えるにあたって、今後認知症高齢者数も急増することが予想されています。誰もが安心して暮らせるまちをめざして、約50名の住民や福祉関係者が参加されました。認知症患者役を稗田野町民生委員が演じ、晴れているのに傘を持っていたり、靴が左右で異なっていたり、認知症の方に見られる特性も取り入れたの迫真の訓練でした。作業所からは、鹿谷地区在住の竹岡さんが参加され、認知症の方に「どこに行くの・・・?」「あなたの家は・・・?」と恐る恐る声を掛けるのですが、なかなか思うように伝わりません。竹岡さんが「難しいな」と思っていると、亀岡市中部地域包括支援センターの職員さんから声掛けのポイントを優しくアドバイスしていただきました。思い切った普通通りの言葉で話しか



ける竹岡さん、そうすると逆になんか、そう思うことす。あまり難しく思うことなく、少し勇気を出して普通通りの方と話を話して話しました。秋のこの訓練に参加し改めて認知症の正しい理解、認知症の人の行動や心理、支援や対応する際の心配りなど、日常の地道な学習会や訓練が、「誰にとつても暮らしやすい街」に繋がることを強く感じます。作業所では夏のサポーター養成講座も含めて今後も参加を継続し、稗田野町の「誰にとつても暮らしやすい街」への取り組みが亀岡全域に広がっていくよう、市民のみなさんと協力しながら進めていきたいと思えます。

亀岡福祉会40周年記念事業

アノインティッド・マス・クワイアコンサート



2/1 sat.2020

OPEN : 13:40~

START : 14:00~

ガレリアかめおか

2階 大広間

入場無料

亀岡福祉会はみなさんのご理解、ご協力、ご支援のおかげで40周年を迎えることができました。

その感謝の想いを伝えるために「祝う会コンサート」を開催します。

開幕はメンバーによる作業所の歌を盛り込んだオープニングコンサート。その後10年間交流を続けてきたゴスペルグループ「Anointed Mass Choir」のみなさんによる迫力と感動のステージをお送りします。

ぜひみなさんのご来場をお待ちしております!

お問い合わせ先

社会福祉法人亀岡福祉会 40周年記念事業事務局 (亀岡福祉会かめおか作業所内)

〒621-0033 亀岡市稗田野町佐伯大門30-1

TEL: 0771-24-2596 FAX: 0771-24-2597

きょうされん 第43次国会請願署名・ 募金運動にご協力をお願いします!!

～今年も、がんばるDAYをしました!～

今期も国会請願署名・募金運動が始まりました。

きょうされん京都支部口丹・乙訓ブロックでは毎年、障害者週間に合わせて、街頭に立ち、署名・募金を呼びかける『がんばるDay』をスタートとして取り組んでいます。

昨年12月6日(金)にJR長岡京駅にブロック5事業所、30名の関係者が集まり声をあげました。当日は朝からグツと冷え込み寒さも一段と厳しい中でしたが、「みんな頑張りなさい!」と気合は十分! はじめは緊張もあり、小さな声で:『署名・募金お願いします!』と静かにスタートしましたが、一筆、一筆と少しずつ署名が集まり始め、『寒いのにご苦労さん。がんばってね!』とあたたかい声をかけてもらうと笑顔がいっぱいになり、『署名お願いします!』と大きな声で積極的に声をかけるメンバーの姿はとても自信に満ちていました。

あるメンバーはバスを待っている人に『ぜひおねがいします』と声をかけ、またあるメンバーは、足早に通り過ぎていく人にも積極的にチラシを配っていました。1時間ほどの街頭署名・募金活動でしたが、署名18筆・募金4,981円のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。何よりあたたかいお声かけは、これからの活動の大きな大きな弾みとなりました。第43次の署名の請願項目は5つ。どれをとっても私たちの願いや思いがいっぱいつまっています。「あたりまえに働き 選べる暮らしを」は今年も大きなスローガンで

す。現在すすめられている全世代型社会保障や障害福祉における成果主義の強化、障害のある人たちへの尊厳を踏みにじってきた旧優生保護法における被害等、今、本当に誰かがあたりまえに安心して生活が保たれているのでしょうか?《あたりまえ》とは何なんでしょう? 障害のない他の者との平等を基礎とした障害者権利条約を地域のすみずみにひろげ、障害の有無にかかわらず誰もが安心して《自分らしくある》ことがあたりまえになる地域をみなさんと共に創っていききたいと思えます。

署名・募金活動を通し障害のある人の「今」を広く理解、共感していただくためにもたくさんの方が必要となってきます。今年も署名推進委員会を中心に署名・募金運動を展開していきます。是非とも多くの方のご協力をよろしく願います。



《スローガン》

あたりまえに働き、選べる暮らしを ～障害者権利条約を地域のすみずみに～

《請願項目》

1. 「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」は、国の謝罪を明記し、支給額を見直すなど、被害者の人権回復にふさわしい法律としてください。
2. 障害年金を安心して生活できる水準まで引き上げるとともに、グループホームやヘルパー制度など希望する暮らしを支える制度を拡充してください。
3. 「2021年度の報酬改定」では、必要な職員を確保して十分な支援ができるよう、基本報酬を引き上げてください。
4. 障害のある人が65歳を超えても必要とする支援を自ら選んで利用できるよう、介護保険優先原則を廃止してください。
5. 地域活動支援センターが安定して運営できるよう、国の責任で実態を調査し、制度を拡充してください。

「ちょっと聞いてよ！」

第24回 谷内 文明さん (第三かめおか作業所)

谷内さんは、第三かめおか作業所の和菓子グループで仕事をされています。

最高齢ながら、誰よりも元気で、いつも積極的。イベントや販売にも参加されています。その前向きな気持ちはどこから来るのかをインタビューしました。持ち前のハキハキとした声で思いを話してくださいました。

「谷内さんはなぜいつも元気なのですか？」

毎日みんなと仲良く作業を頑張っています。メンバーと話しをしたりすることが楽しいです。

「仕事以外でやってみたいことなどありますか？」

自分は作業所にくる前からうなぎ屋の皿洗いなどして働いていたので、他の人に色々と教えてあげたいという気持ちがあります。

作業所以外でも(小学校との交流学习の時に)小学

生に分かりやすく説明をしてあげることができればと思っています。

そのほかでは、趣味のカラオケのほうでも、もっと上手く歌えるようになりたいと思っています。休日に歩いて自由にカラオケにいければ嬉しいといつも思っています。できれば友達といきたいです。

谷内さんは日頃、必要以上に自分の思いを話すことは少ない方なのですが、今回のインタビューではしっかりと返事がすぐに返ってきました。いつまでも元気で仕事をがんばってくださいね。



ご寄付 11月〜12月

- 11/6 時岡健二様 花苗等
- 12/4 インシユアランスウエダ株式会社様 お菓子詰め合わせ 金一封
- 12/9 榊田野町自治会様 ソースセット
- 12/9 (有)楠新聞舗様 コーヒーセット
- 12/9 (株)能勢工務店様 A4ファイル
- 12/13 アステック様 コーヒーセット
- 12/13 (株)ちよかわモーターサービス様 ケーキ
- 12/13 (株)親愛様 みかん
- 12/25 原田自動車様 みかん
- 12/25 亀岡市社会福祉協議会様 BOXティッシュ他

ご寄付ありがとうございました。

時

新しい年になり、今年も東京オリンピックが開催されるので賑やかにしようです。

昨年は色々なニュースがありました。中でも子供に関する事件は多数あり、SNSやツイッターを通じての誘拐事件は私の中では他人事とは思えない事件でした。

私には小学生の娘が3人います。今は小学生でも携帯を持っていることが多い時代で、娘には「携帯はロックはかけずにみれるようにしてー！」と日頃から言っていて、毎日中身をチェックするようにしています。娘のLINEを開くと年頃の娘は何やら男の子と恋愛話をしていて私は気になり、つい楽しくて色々見てしまいました。

好きな子の話をしている娘の内容を見て「可愛いなー」と一人で微笑んでいる私。普段は私が恋愛話を聞いても何も答えてくれない娘なので、私は少し嬉しくなりました。内容を見すぎて「怒られるー！」と思ってしまうのを止め、何もない事を確認しチェックは終了。

しかし、SNSなど便利なツールでこんな心配をしなくてもいい使い方ができるようになればと思います。

(S)